

平成28年度 学校評価報告書 (実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定) *1	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月17日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイレベルな文武両道により、高い学力と豊かな人間性を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学科改編に向け普通科・スポーツ科学科の教育課程編成を行う。 ・体育を特色とした取り組みを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普通科では国語・数学・英語を充実させた、スポーツ科学科では専門的な内容の教育課程を編成する。 ・入学前および長期休業時に体力課題を課し日常的に体力向上、健康増進に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・充実した教育課程編成ができ、実施に向けて十分な準備ができているか。 ・体力課題の取り組みを開始できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度生から毎日6時間授業になるなど普通科では国語・数学・英語を充実させた。スポーツ科学科では専門的な内容の教育課程を編成することができた。 ・夏季休業中の保健体育の体力課題には、前向きに取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の目標を持たせつつ日々の課題や週末課題を課すことによって、毎日の授業を充実させる。 ・体力課題に関しては日々の取組が大切であり、啓発しつつ、日常での効果的な運動を継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の質が上がっている。目標をあげることや、アドミッション・カリキュラム等、明確にどういった生徒を育てていくかが重要。 ・生徒は落ち着いている。安心して生活できている。北校マナーを守っている。教室の机が縦一列になっている。 ・マナーがよく、しっかりと挨拶している。 ・授業評価のアンケートについては毎回見させていただいている。進学率を上げようとする試みを行っている。 ・アンケートからは、予習、復習の項目の値が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普通科では国語・数学・英語を充実させた、スポーツ科学科では専門的な内容の教育課程を編成することができた。 ・夏季休業中の保健体育の体力課題には、前向きに取り組んでいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・充実したカリキュラムを実施していく。その質を高めるためにも、日々の課題や週末課題を課し、将来の目標を持たせることでより高い学習レベルを達成できるようにする。 ・夏季休業中の保健体育の体力課題には、ある程度、数値目標を設定したり、データをスマートフォンで集積するなど、前向きに取り組んでいく。
2 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動や行事に主体的に取り組む、自ら誇りを持つてのびやかで規律正しい生活を送る校風を維持する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・規律正しい生活を維持できるよう指導、支援する。 ・部活動・行事の教育力、生徒の人間性、主体性の伸長を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HR指導、登下校指導や校外指導など職員が一致して、マナーやモラルの向上を指導する。 ・小中高連携及び地域連携によるあらたな部活動の可能性を模索する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒への指導が徹底できたか。生徒の規律性は保たれているか。 ・地域と連携した新たな取り組みに向け検討をどこまで進められたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校門指導、HR等で継続的に服装、身だしなみ指導を行うことができた。 ・通学路で自転車安全運転に関する啓発指導を行った。 ・地域の大学や自治会等と話し合いを持ち、今後の協働について検討した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車の運転マナー、交通安全の意識を高めるために、校外指導や、安全教育の機会を増やしていく。 ・部活動加入率の向上へ向け、生徒のニーズに応じた部活動のあり方を検討し、新たな部活動の可能性を模索する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒は3年で入れ替わるのでマナーについては繰り返しの指導が必要。 ・通学時においては、学校付近で登校生徒が集中するので事故等の注意への注意が必要。 ・「みんなでわっしょいスポーツだ」で地元小学生を指導するなど、地域と連携したスポーツ活動が生徒にとっても地域にとっても有益であった。地域の子供達とのふれあいを継続してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校門指導、HR等で継続的に服装、身だしなみ指導を行うことができた。生徒は3年で入れ替わるのでマナーについては繰り返しの指導が必要。 ・通学路で自転車安全運転に関する啓発指導を行った。 ・「みんなでわっしょいスポーツだ」で地元小学生を指導するなど、地域と連携したスポーツ活動が生徒にとっても地域にとっても有益であった。今後も地域の子供達とのふれあいを継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校門指導、HR、学期ごとの集会等で、服装、身だしなみ指導を継続して行っていく。 ・通学路で自転車安全運転に関する啓発指導を継続して行っていく。また命の授業等も関連させて指導を行う。 ・「みんなでわっしょいスポーツだ」で地元小学生を指導するなど、地域と連携したスポーツ活動が生徒にとっても地域にとっても有益であった。今後も地域の子供達とのふれあいを継続していく。

3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を持ち努力し続けることで一つ上の進路実現を目指す生徒を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・早期の目標設定、一つ上の進路実現を目指す進路指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路の気づきの契機となる効果的な進路体験を実施する。 ・大学進学率を43%以上にもどす。 ・センター試験受験者数を20名以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス等で生徒に具体的な目標を持たせることができたか。 ・大学進学率を達成できたか。 ・受験者数を達成できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の満足度は現状を維持した。 ・大学進学率43%以上を達成できなかった。 ・センター試験受験者数20名以上を達成できなかった。(14名受験) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の進路実績を高めると同時に、進学における四年制大学進学率の向上に向け、受験情報や学習環境の提供を図る。 ・進路指導室及び自習室の効果的な活用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マナーが良く、しっかりと挨拶ができる。授業では落ち着いて取り組んでおり、スポーツ科学コースでは卒業研究もしっかりと発表している。しかし体育分野への進学率が低いことが課題であり、そこを引き上げることが必要。 ・センター試験の受験数が着実に伸びてきている。 ・英数国の週末課題を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の取組や卒業研究を充実することが出来たが、大学進学率の目標を達成できなかった。 ・センター試験の受験数が増えているものの、目標を達成することが出来なかった。 ・体育系大学の進学率を上げることが重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学進学率40%以上を達成する。 ・センター試験受験者数15名以上を達成する。 ・体育系大学の進学率を上げる。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の教育力を積極的に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学科改編の情報を中学生、保護者に浸透させる。 ・地域と協働したグローバルな取り組みを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な学校案内、わかりやすい学校説明会、ホームページにより浸透を図る。 ・厚木市など地域と協働して、留学生の受け入れ、国際交流等を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な受検者数を確保できたか。 ・国際交流の取り組みを実施できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・趣旨を明確にし、効果的な学校案内、わかりやすい学校説明会を実施し、昨年より300名の参加者増を果たした。またホームページにより学科改編や、今後の教育方針の浸透を図ることができた。 ・厚木市など地域と協働し、留学生の受け入れ、国際交流等を検討した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会の開催時期を変更し、より効果的なPRにつとめる。 ・厚木市など地域と協働し、留学生の受け入れ、国際交流等を検討し、来年度より交流を実施する予定である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との防災訓練について、先生と生徒が毎年参加しているので地域からも注目されている。 ・厚木市の立場からするとオリンピックではニュージーランドのホストタウンになっているので、連携をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練に参加し、地域と交流している。 ・厚木市との国際的な教育連携も深まっており、来年度からニュージーランドとの教育交流が始まる予定である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練に参加している。今後も継続して参加していく。 ・今後も継続して厚木市との国際的な教育連携を継続していく。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒第一に安心安全かつ快適な教育環境整備を進める。 ・チームで学校を運営する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学科改編に向け施設設備等の整備計画を立案する。 ・チームとしての学校運営を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学科改編に向けよりハイレベルな学習環境の整備計画を立案する。 ・グループ、学年、教科、部活動顧問等、すべてがチームとして機能させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要十分な整備計画が立案できたか。 ・グループ、学年、教科、部活動顧問等、すべてがチームとして機能できているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学科改編に向けた整備計画として、各施設の修繕、および教室配置計画を検討した。 ・学校安全計画の再検討を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校改革等の予算により、さらに充実した教育環境整備を進める。 ・地域を含めた防災計画の再検討を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育環境をさらによくしていくことが重要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校改革に伴い、自習室整備、スポーツ総合演習室、トレーニング室等、大幅な改修に向けた予算組みを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度より高校改革の予算を活用し、施設のスポーツ総合演習室、トレーニング室、等大幅に改修していく。